

PCT

- 國際調查報告（條約第 21 條(3)）

〔続葉有〕



プリズムバラスト構造を有するトーリックコンタクトレンズ 10 において、 レンズ前面に、中央光学領域 28 と、それを包囲する円環状の移行領域 30 と、それを包囲する円環状の周辺領域 32 とが画定されている。レンズ前面の形状は垂直経線 18 を境界とする鏡像対称性を有し、レンズの肉厚が最大となる 2 箇所の最大肉厚部 36 および最大肉厚部 38 からレンズ下端部 26 にかけて滑らかに肉厚が減少しており、最大肉厚部 36 および最大肉厚部 38 の間に谷状の凹みがスラブオフ 40 として形成されている。